

2025 年 2 月 28 日

広島県内の水稲栽培で創出した農業由来 J-クレジットの購入について

株式会社広島銀行（頭取 清宗 一男）は、農業経営体の収益向上と地域の農業の持続可能性を支えることを目的とした J-クレジット創出プロジェクトに取り組む株式会社 Rev0（レボ、本社：安芸高田市）より、水稲栽培で創出した農業由来 J-クレジットを購入しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 実施内容

株式会社 Rev0 が認証取得した農業由来 J-クレジット※1「Fair-Farm Credit」を次のとおり購入しました。
なお、水稲栽培の「中干し」期間の延長によるメタンガス排出の抑制・削減を通じた J-クレジット創出は、広島県内初であり、当行は第 1 号の購入企業となります。

プロジェクト名称	株式会社 Rev0 が運営するメタンガス削減のための水田中干し期間延長プロジェクト
プロジェクト概要	水稲栽培における中干し期間の延長※2
プロジェクト実施者名	株式会社 Rev0
認証を受けたクレジット量	702 t-CO2
当行が購入するクレジット量	100 t-CO2

※1 J-クレジット制度：温室効果ガスの排出削減量や吸収量をクレジットとして国が認証する制度。

※2 水稲栽培における中干し期間の延長：

中干しとは、水稲栽培中、出穂前に一度水田の水を抜いて田面を乾かすことで、過剰な分けつ（稲の枝分かれ）を防止し、成長を制御する作業をいう。2023 年 4 月、メタン発生を減らす効果があるため、水田の所在地・排水性等に応じた排出削減量（CO2 相当）が J-クレジットとして新たに認証された。

2. 実施理由

〈ひろぎんグループ〉の「環境方針」および「SDGs 宣言」に沿って、中山間地域をはじめとする郷土の豊かな自然環境の保全を図るとともに、農業経営体の収益向上と地域の農業の持続可能性を支え、将来の世代により良く引き継いでいくための取組みを促進するため。

3. 今後の対応方針（予定）

今回購入した農業由来 J-クレジットについては、ひろぎんホールディングスにおける 2030 年度のスコープ 1・2 排出量のカーボンニュートラル目標達成を見据えた、将来の自社活用を予定しております。

当行は、〈地域総合サービスグループ〉として、地域の社会・環境課題の解決と持続的な成長に向けた取組みを推進してまいります。

以 上



広島銀行では、SDGs への取組みを強化しております。

【SDGs（Sustainable Development Goals）持続可能な開発目標】
2015 年 9 月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての 2030 年までの世界共通目標。持続可能な開発のための 17 の目標と 169 のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社広島銀行
総合企画部 企画室
Tel (082) 247-5151（代表）